市民社会強化活動支援事業 *Pecs* (Program for Empowering Civil Society)

認定 NPO 法人まちぽっと

団体の目的・ビジョン

地域社会に住み、暮らす市民の視点から、市民の参加による持続可能な市民社会、また豊かな地域社会の実現に向けて市民と協働して取り組むとともに、市民の自主的な社会活動（市民活動）の推進に寄与する

中長期アウトカム

全国の各地域において『草の根』的に活動する団体が、人や組織、自治体などの公的な機関や民間団体・企業など、多様なセクターとつながり、その結びついた関係性が強まることにより、複層的・重層的な課題を抱える人や環境への支援活動がより深化して進められるとともに、社会の周縁におかれがちな人々の地域社会への参加が促され、持続可能な市民社会が推進される。

非資金的支援

短期アウトカム

- 全国の各地域において『草の根』的に活動する団体が、人と人、組織と組織のつながりの重要性を明確化し、連携・協力が強化され地域社会が強化される。
- 全国の各地域において『草の根』的に活動する団体の取組みにより公共政策・制度的な課題が明確になり、その改善策を明らかにし提案・改善することによって課題を抱える人・社会的に孤立する人などへの支援が進められ、地域社会を強くすることができる。
- 全国の各地域において『草の根』的に活動する団体が自らの活動を評価し、次の目的・活動を明確化することにより、その改善を図り、持続可能性を高めることができる。
- 全国の各地域において『草の根』的に活動する団体が自らの組織マネジメントの在り方を振り返り、見直すことができる。
- 事前相談によるアドバイスや連携・協力団体や専門家の紹介等により、草の根的に活動する団体による民間公益活動が、全国の各地域において活性化される。
- 対面での「選考会」における選考委員との質疑、中間報告会、事業終了後の報告会を通して、『草の根』的に活動する団体による民間公益活動が全国各地域において活性化される。

アウトプット

- 実行団体が複数の団体と連携、協力して課題解決に向けた取り組みを進め、複層的・複合的な支援活動を実施し、地域市民社会の強化を図ることができる。
- 実行団体による活動を支援等が必要な当事者の参加のもとに進め、当事者の社会参加を促し自立意識の向上を図ることができる。
- 実行団体による活動によって改善が必要な公共政策・制度的な課題が明らかになる。
- 実行団体が自らの活動を評価し次の目的・目標が明確化され、地域社会の新たな課題が掘り起こされる。
- 実行団体が自らの組織マネジメントの在り方を振り返り、見直すことにより、組織の持続可能性を高めることができる。
- 事前・中間相談を通して、活動のアドバイスや連携・協力団体の紹介などを受けることにより、地域課題に即した活動と当事者の参加が見込める。また、活動と組織の持続可能性が高まる。
- 選考会での選考委員との質疑、また中間報告会、報告会を通して活動の目的・目標を明確化でき、他団体との交流が広がるとともに、内部の人材の育成や組織・活動の改善などを図ることができる。

介入

- **介入**：課題の掘り起こし、関係団体の情報等を調査収集し、整理
- **介入**：関係団体と連携・協力を図るための相談・調整
- **介入**：当事者の現状を調査収集し、当事者の参加を促す。
- **介入**：課題に関する公共政策・制度の課題を明らかにし提案
- **介入**：事業評価等の専門家・団体によるアドバイスや相談
- **介入**：実行団体への事前・中間相談の実施。組織マネジメントのアセスメントとアドバイス
- **介入**：選考会の開催。中間報告会・報告会の実施。それらを通した他団体との交流の機会提供

社会課題

地域社会での人と人、組織と組織、また自治体など公的機関と民間団体とのつながりは依然として希薄である。また、セクターや分野を超えた人や団体がともに課題へ取組む事例も、特に非営利のフィールドにおいては多いとは言えない。課題の当事者が参加し、様々な人・団体がつながりあい、ともに取組むことによって生まれる複合的な効果を実現するための新たな解決手法が求められている。